



戸赤の里 花豆栽培講習会

元気な村への道をひらきたい



花豆の加工と販路拡大のため、戸赤区長の呼びかけで豆加工販売業者、菓子製造販売業者、地域づくりコーディネーターのみなさんが「道の駅」しもごうに集まり、花豆とおした戸赤の地域づくりについて話し合いました。

参加者
○株式会社代表：松崎健太郎さん
○株式会社 庵営業部長：目黒浩さん
○「道の駅」しもごう 駅長：小山源昭さん
○地域づくりコーディネーター：積田和弘さん
○戸赤区長：渡部利男さん
○事務局：室井春雄

室井・産地振興の面から積田さん一。積田・平成十五年から村おこしに関わり山桜を中心をやってきたが、当初から花豆のことは村おこしの素材としてあった。この栽培を通じてどのようににみなが元気になっていけるかが大事な点と思っている。小山・道の駅には町内から花豆が出されている。人気商品だ。松崎・売り先がないのに走り出しているのが多い中で、花豆は売れる商品のひとつだ。戸赤とは二年になるが来年は特に大粒のものができそうだ。目黒・地の利を生かした商品を作りたい。できるなら会津の材料で作った菓子で店をいっぱいにした。眞的にあればスーパードの連携もできる。渡部・売値が問題で安定した価格になればいいのだが。松崎・加工業者は契約した価格で買えるのが強みだ。選別した物を全量買ってもらえると農家さんは安心だと思う。戸赤だけの統一価格であればできないことではない。目黒・市場相場はあるが地元で育つてもらうという意味で高値買入れはできる。どの生産者のものでも同じ品質であれば全量買える。積田・戸赤の花豆ということではないと下郷の名前では品質

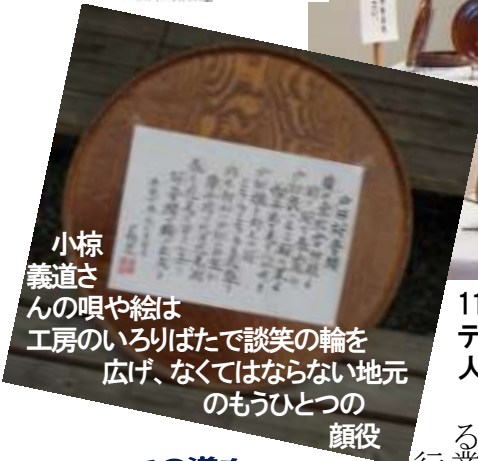
良さが目立たない。同じ花豆でも場所が違うと物が違うことを示さなければならぬ。目黒・おく屋さんや太郎庵が商圏的にかち合うことは避けたい。商品自体が似かよるのはいたしかたないと思う。室井・今年には農林事務所の応援で、土壌分析やツルの整理など栽培技術を勉強したかいあつて、いいものが取れた話もあつた。松崎・花豆の白い花、赤い花をお客さんに見てもらい戸赤に人を引き付けるイベントができたらと夢見ている。積田・松崎さんらの「マメクラブ」は会津管内を対象に荒れた畑を若い人の手でよみがえらせようと活動している。小山・地元の元気のためにやるのが「道の駅」の使命。売上だけを競っているのは本来の姿ではない。目黒・戸赤の豆ということでは戸赤を強く出してあげば道が開ける。裏磐梯は「花嫁ささげ」の商標登録を取っている。生きがい・やりがい・ふところぐあいが元気の源になる。積田・たしかに花豆のことで戸赤の皆さんを見てみると生き生きしている。渡部・いいものを出すにはハネダシや良くない物も同量くらい出る。それも含め根こそぎ全部買ってもらえればまた違ってくる。

【木地の学習No.13】木地師が移住するにあたっては、樹種、樹質や量を下見分して良好となれば、相手村と交渉契約を交わして翌年の雪消えの時期に引越しをしたというのが一般的であったようだ。したがって木地が所持している朱雀天皇繪旨と称するものには、「日本中のどこの山を勝手に伐ってもよい」という意味のことが書かれているが、実際はその効用は疑わしいものである。……すでにこの時期には留木、伐採区域の山手等は百姓村の藩に納める年貢とは違って、村の収入となったものと思われる。信州では藩へ木地挽きとして年貢を納め、その外にも村へ納めなければならなかった。会津藩では木地師に対し無年貢であったり、藩の優遇策の一つであったと思われる。白川藩、米沢藩、仙台藩でも木地挽税は徴収している。会津藩でも加藤氏の時代は税を取っているようで『家世実紀』寛永20年8月2日の条に記載されている。保科氏が会津若松城を受け取ったとき、加藤式部少輔の家来より渡された「会津若松城附小物成帳」には、山之郡(耶麻郡)年貢の項目の中に「木地挽屋敷」とあることから窺い知れる。(奥会津地方歴史民俗資料館「木地語り」より) (つづく)

町文化祭に参加



地元産秋野菜などの木地工房売店は隠れた人気スポット



小椋義道さんの唄や絵は工房のいろりばで談笑の輪を広げ、なくてはならない地元のもうひとつの顔役

11月5～6日の町文化祭ではふれあいセンターステージに戸赤の木地工房コーナーが設けられ、3人から30点近くが出品された



東日本大震災復興支援事業として「美しい山形最上川フォーラム」と「美しい多摩川フォーラム」が提唱した『東北夢街道』桜の札所。戸赤の山桜が十六番目に番付けされました。主催

12・9 (金) 倉水で総会

取り戻したいものです。

十月一日山形と東京でこのプランが発表されました。東北復興のシンボルとなった桜で戸赤の元気も

も予定しています。

戸赤の山桜・16番

11番・聖徳のツバヒガン桜(丸森町)	12番・西公園(仙台市)	21番・日和山公園(石巻市)
12番・白石城(白石市益岡町)	13番・三神堂公園(仙台市)	22番・金華山霞山公園(石巻市)
13番・白石川第一千本桜(大河原町)	14番・徳電神社の徳電桜(塩竈市)	23番・城山公園と江合川堤防桜並木(涌谷町)
14番・船岡城址公園(柴田町)	15番・西行反しの松公園(松島町)	24番・加護坊山(大崎町)
15番・三春滝桜(三春町)	16番・南郷公園(白河市)	25番・花見山(福島市)
16番・福草寺(三春町)	17番・聖々五公園(遊佐川市)	26番・千田山自然公園(桑折町)
17番・小沢の桜(田村市船引町)	18番・原成山公園(郡山市)	
18番・紅林寺地蔵桜(郡山市中田町)	19番・観音寺川桜並木(猪苗代町)	
19番・登井千本桜(小野町)	20番・鶴ヶ城公園(会津若松市)	
20番・遠代の桜(古郷町)	21番・石浜桜(会津若松市)	
21番・物木の園公園(いわき市惣栄町)	22番・鶴桜(高崎市山都町)	
		23番・花見山(福島市)
		24番・千田山自然公園(桑折町)

東北・夢の桜街道

平成24年4月21日(土) 17:30開演 18:00開演

観覧料 三春滝桜 300円

200人まで 300円

美しい山形フォーラム事務局

桜咲く美しい東北に愛に来てください
～わたしたちも「東北・夢の桜街道」を応援しています～



(花豆の学習[No.12]) **花豆栽培技術の実証 2実証内容** 生育量を抑える方法として①側枝の整理と②摘芯をおこなうとともに、開花盛期以降の樹勢を高める方法として③開会盛期の追肥を行いました。また、青いサヤの収穫促進方法として④地際部の茎切断による樹上乾燥を行いました。具体的な方法は次のとおりです。①側枝の整理：生育期間中、病葉や黄化葉を中心に、枝葉の混み合っている箇所ツルや葉を間引きしました。②摘芯：ツルが天井部に届いた時点で摘芯を行い、天井部から日光が入るようにしました。③開会盛期の追肥：開花盛期に株元に追肥を行い、開花期から樹勢維持を図りました。④樹上乾燥：最終のもぎ取り収穫した9月29日に茎を地際で切断しました。これにより、茎葉に含まれる養分がサヤに流れてサヤの成熟を促進するとともに、サヤの黄化を早めることにより、収量増につながることを期待しています。(南会津農林事務所農業振興普及部資料から) (つづく)